



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和6年10月第1回市長定例記者会見

- ・日時 令和6年10月7日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 「大人の上毛かるた渋川大会」Let's enjoy!!～童心に返って真剣勝負!!～を開催します(資料1)
- 2 「渋川市障害者アート作品展～いつもをカタチに展～」の展示作品を募集します(資料2)
- 3 伊香保温泉の公共駐車場における課題解決に向けた取り組みを実施します(資料3)
- 4 公立の幼稚園・保育所・認定こども園においてLINEを利用して欠席等の連絡を受けています(資料4)
- 5 消防団の組織や処遇について検討する「渋川市消防団活性化庁内検討委員会」を設置しました(資料5)
- 6 渋川市の衆議院議員総選挙の対応についてお知らせします(資料6)

その他資料提供

- ・令和6年度の「共生社会推進月間」における取り組みを紹介します(資料7)

○次回開催予定

日時：令和6年10月15日(火) 午後1時～
場所：本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
10月7日(月)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	15:00	監査委員から広域組合決算審査意見書の提出	市役所本庁舎	監査委員事務局
	16:00	しぶかわ商工会から令和7年度予算に対する要望書の提出	市役所本庁舎	産業政策課
10月8日(火)	9:30	長者者顕彰	市内	高齢者安心課
	13:30	令和6年度フォローアップミーティング	市役所本庁舎	政策戦略課
	18:30	自治会長との懇談会(小野上地区)	小野上公民館	市民協働推進課
10月9日(水)	10:00	自治会長との懇談会(伊香保地区)	伊香保公民館	市民協働推進課
	14:00	公立保育所保護者会連合会との懇談	市役所本庁舎	こども支援課
	18:00	自治会長との懇談会(赤城地区)	赤城公民館	市民協働推進課
10月10日(木)	9:00	令和6年度フォローアップミーティング	市役所本庁舎	政策戦略課
10月11日(金)	9:00	庁議	市役所本庁舎	政策戦略課
	13:30	令和6年度フォローアップミーティング	市役所本庁舎	政策戦略課
	16:00	第62回渋川広域圏内発明くふう展表彰式	渋川市勤労福祉センター	産業政策課
	18:00	自治会長との懇談会(北橋地区)	北橋行政センター	市民協働推進課
	18:00	経済団体情報交流会	うたしあ	産業政策課
10月12日(土)	9:15	ひばり保育園第47回運動会	ひばり保育園園庭	こども支援課
	10:00	令和6年度渋川市子持地区敬老大会	子持社会体育館	高齢者安心課
	11:30	津久田人形芝居櫻座第4回地域鑑賞会	津久田人形舞台	文化財保護課
10月13日(日)	8:30	古巻地区市民運動会ほか市内4地区市民運動会	古巻中学校校庭ほか	古巻公民館ほか
	10:00	渋川市民総合文化祭新舞踊発表会(11:30～市長出席予定)	市民会館大ホール	生涯学習課
10月14日(月)	8:30	第16回赤城ふれあいスポーツフェスティバル	木暮組スポーツパーク赤城	赤城公民館
	9:30	令和6年度渋川地区公民館交流レクリエーション大会	渋川南小学校校庭	東部公民館
	13:20	渋川市民総合文化祭ダンス発表会(15:00～市長出席予定)	市民会館小ホール	生涯学習課
	13:30	令和6年全国地域安全運動渋川・北群馬地区大会	吉岡町文化センター	危機管理室
10月15日(火)	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	広報室
	16:00	平和推進啓発作文・ポスターコンクール入賞作品最終審査	市役所本庁舎	市民協働推進課

資料1

「大人の上毛かるた渋川大会」Let's enjoy!! ～童心に返って真剣勝負!!～を開催します

渋川「大人の上毛かるた」実行委員会の主催による「大人の上毛かるた渋川大会」を、11月24日(日)に開催します。18歳以上を対象とし、上毛かるたの試合を個人戦、団体戦で行います。

1 目的

「大人の上毛かるた渋川大会」は、育成会活動活性化の一助として、また、減少しつつある子どもの上毛かるた競技人口の維持、増加を図るために開催するものです。大人たちがあらためて上毛かるたの魅力を認識し、発信を促し、上毛かるた振興の一助となることを目的としています。

2 日時 令和6年11月24日(日) 午後5時～

3 場所 宮田商会武道館渋川 (渋川市武道館・渋川市中村830-6)

4 内容

個人戦、団体戦(3人1組)で予選リーグを行った後、決勝トーナメントを行います。成績上位者及び団体には表彰を行います。

5 参加資格

18歳以上で渋川市在住または渋川市出身の人。または、渋川市に通勤・通学している18歳以上の人。

6 エントリー料金(選手登録費) 個人戦、団体戦ともに1,000円/1人

7 エントリー締切 令和6年10月25日(金)

8 入場・観覧料 無料

9 主催 渋川「大人の上毛かるた」実行委員会

10 後援 渋川市、渋川市教育委員会

11 会見出席者及び問い合わせ先

渋川「大人の上毛かるた」実行委員会

会長 南雲 章 さん(電話:090-8865-9329)

■後援担当部署

教育部 部長 斉藤 章吉(内線4930)

担当:生涯学習課(電話0279-22-2500)

課長 照井 智子(内線4950)

青少年係長 狩野 美菜子(内線4951)

大人の「上毛かるた」

渋川大会

Let's enjoy!!

～童心に返って真剣勝負!!～

2024.11.24(日) 17時～

於 宮田商会渋川武道館

入場観覧 無料 選手登録費 ^(1名) ¥1,000

【参加資格】 18歳以上

(渋川在住、渋川出身、渋川に通勤通学している方)

エントリーはこちら
募集要項をお読みのうえ
お申込みください



エントリー締め切り

10月 25日(金)

主催 渋川「大人の「上毛かるた」」実行委員会

後援 渋川市・渋川市教育委員会

資料2

「渋川市障害者アート作品展～いつもをカタチに展～」の 展示作品を募集します

渋川市は、障害者アートを通じて障害についての理解を深めるための機会創出に向けた取り組みとして、群馬県と連携し、12月の障害者週間に合わせて渋川市美術館において企画展示を行います。

開催に当たり、「群馬県障害者芸術文化活動支援センター こ・ふあん」では、県内北毛エリアから広く展示作品を募集します。

1 概要

群馬県は、障害のある人の芸術文化活動の普及を支援するため「群馬県障害者芸術文化活動支援センター こ・ふあん」を中心に、「ネットワークの構築」、「相談支援」、「人材育成」などに取り組んでいます。12月には、障害者週間記念行事として、「渋川市障害者アート作品展～いつもをカタチに展～」を開催します。

渋川市は、「共生社会実現のまち 渋川市」として、共生社会実現の機運の醸成を図るため、障害のある人の芸術・文化活動の発表を通じて、それぞれの個性・能力が存分に発揮され、人々の多様な在り方を相互に認め合える全ての人が生き生きとした人生を送ることができる社会の形成を促進します。

2 障害者週間とは

「障害者週間」は、広く障害のある人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害のある人が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として設定されました。期間は、毎年12月3日～9日までの1週間です。

この期間を中心に、国、地方公共団体、関係団体等において、様々な意識啓発に係る取り組みを展開します。

3 作品募集

(1) 応募期間 令和6年10月10日(木)～11月10日(日)

(2) 応募資格

満15歳以上で、渋川広域（渋川市、吉岡町、榛東村）、吾妻地区、利根沼田地区在住の障害のある人

(3) 応募条件・作品企画等

詳細は、こ・ふあんホームページを確認してください

(<https://gunma-artsupport.com/sibukawa-art-2024.html>)

(4) その他 応募多数の場合は、選定の上、展示作品を決定します



4 作品展

(1) 日時 令和6年12月4日(水)～9日(月) 午前10時～午後5時

(2) 会場 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館（渋川市石原6-1）

(3) 主催 群馬県障害者芸術文化活動支援センター こ・ふあん／群馬県

(4) 共催 渋川市／NPO法人渋川広域障害保健福祉事業者協議会

5 問い合わせ先

群馬県障害者芸術文化活動支援センター こ・ふあん

〒370-0813 高崎市本町10-1イチカワビル4階 工房あかね内

電話 027-387-0533

6 会見出席者

群馬県障害者芸術文化活動支援センター こ・ふあん
支援コーディネーター 吉田 征雄（よしだ まさお）氏

参考

1 群馬県障害者芸術文化活動支援センター こ・ふあんの取り組み

全ての人たちが自由に表現できる社会に向けて、障害のある人の自立と社会参加の促進、個性と能力の掘り起こしなどにつなげようと、群馬県は令和5年4月17日に障害者の芸術文化活動支援の拠点となる「群馬県障害者芸術文化活動支援センター こ・ふあん」を設立しました。

障害のある人が地域の人びととともに芸術や文化に触れ、活動に携わり、さらにいきいきとした日々を送れるよう、環境や体制を整え、障害のある人自身やそのご家族、支援者、障害福祉サービス事業所などの相談に応じ、さまざまな機関や人をつなげていくことを目指します。（こ・ふあんHPより）

2 令和6年度の活動状況

(1) 令和6年6月4日

障害者アート支援初級セミナー1『想像と創造するチカラを磨こう』
利根沼田地区にて実施

(2) 令和6年7月29日

障害者アート支援初級セミナー2『想像と創造するチカラを磨こう』
西毛地区安中にて実施

3 令和5年度の主な活動状況

(1) 開設記念シンポジウム（8月19日）

スマーク伊勢崎にて実施

(2) 開設記念「アーツアンドカフェ/Arts & Cafe」（8月26日～9月10日）

群馬県庁32階にて実施

(3) 「駅でペイントワークショップ with ドラムサークル」（8月26日、27日）

JR桐生駅にて実施

(4) ルオムの森のペイントワークショップ（10月21日、22日）

ルオムの森：群馬県吾妻郡長野原町北軽井沢1984-239にて実施

(5) 「ドラムサークルで遊ぼう」「東毛地区ノンアート展」（12月1日、10日）

ぐんまこどもの国 2階ギャラリー/多目的ホールにて実施

■問い合わせ先

福祉部 部長 生方 清三郎（内線1200）

担当：地域包括ケア課（電話0279-22-2359）

課長 後藤 景太（内線1210）

障害福祉係長 青木 光子（内線1211）

作品
展示会

いつもを カクヤ子に展

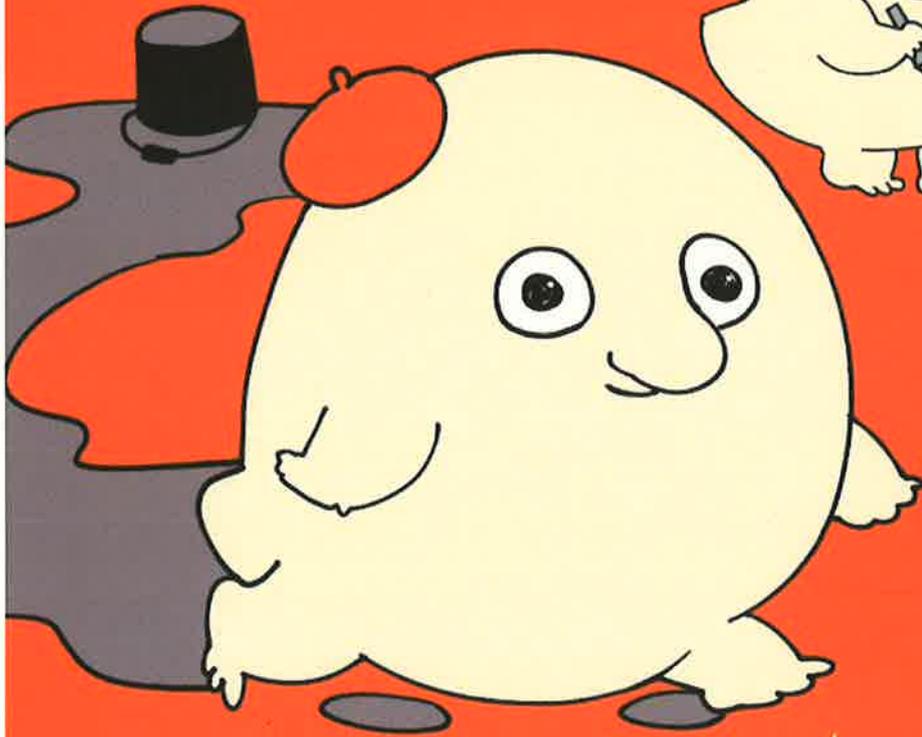
応募期間

2024
10/10~11/10



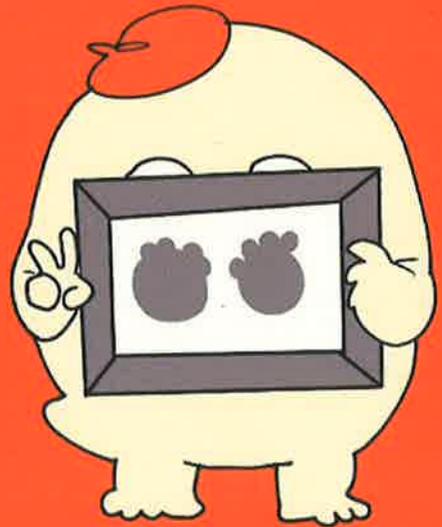
02

応募する



01

作品を作る
作品にする



03

展示する

参加費
無料

渋川市障害者アート作品展 ～「いつもをカタチに展」～ 開催のご挨拶

群馬県では障害のある人の絵画制作や音楽、演劇などの鑑賞が福祉施設を中心に行われてきました。しかし、それらの活動には本人の感情や意思が大切にされたり意味や意義を考えたりすることが十分ではありませんでした。

近年、障害者差別解消法などの法律が制定され、インクルーシブや共生社会などの言葉に代表される動きが社会に広まり、障害のある人の表現活動は大きな注目を集めるようになりました。群馬県にも群馬県障害者芸術文化活動支援センターこ・ふぁんが令和5年度に開設され、障害のある人の文化芸術活動を支援しております。

このような流れの中で、この度こ・ふぁん／群馬県と渋川市、NPO法人渋川広域障害保健福祉事業者協議会が一緒になって「渋川市障害者アート作品展～『いつもをカタチに展』～」を開催します。地域において広く募った多くの方々の表現の世界に触れていただきたいと思います。

- **応募資格**
渋川広域、吾妻地区、利根沼田地区在住の障害のある方
応募者が満15歳以上であること
- **応募方法**
右下のQRコードを読み取り、内容を御確認の上、ご応募ください
- **応募期間**
令和6年10月10日（木）～11月10日（日）
- **開催期間・時間**
令和6年12月4日（水）～9日（月）
10：00～17：00
- **開催場所**
渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館
（渋川市石原6-1 渋川市役所第二庁舎）



主催：群馬県障害者芸術文化活動支援センター こ・ふぁん／群馬県

共催：渋川市／NPO法人 渋川広域障害保健福祉事業者協議会

資料3

伊香保温泉の公共駐車場における課題解決に向けた取り組みを実施します

多くの観光客が訪れる伊香保温泉の石段街周辺では、公共駐車場の需給のミスマッチなどにより交通渋滞が発生しています。

そこで渋川市は、県と連携し、公共駐車場の利用状況を把握できる仕組みを構築するとともに、渋川市が公共駐車場の利用データを取得、分析することで課題解決に向けた取り組みを実施します。

1 趣 旨

伊香保温泉には多くの観光客が訪れますが、石段街周辺では駐車場への入庫待ち又はUターンしようとする車で渋滞が発生しています。その一方で、石段街から離れた場所には、空きがある公共駐車場もあり、需給のミスマッチが起こっている状況です。

この課題解決に向けた取り組みとして、公共駐車場の利用状況を把握できるようにすることで、駐車場を使いたい観光客を空きがある公共駐車場へ誘導します。

また、現在、渋川市が公共駐車場の利用状況を把握できるデータがないことから、分析に活用できるような利用データを取得します。

なお、本事業は、県の「地域課題解決プロジェクト」による検証実験として実施するものです。渋川市と県が連携して事業内容の検討や事業者との調整を進めてきたところであり、引き続き、地域課題の解決に資する検証実験を行います。

※「地域課題解決プロジェクト」とは

県及び市町村が抱える様々な分野の課題をデジタル技術を活用して解決するための実証事業です。実証結果を他の市町村へ紹介、横展開することで、群馬県全体のDX推進を目指します。

2 実施内容

車両検知AIカメラを4カ所の公共駐車場に設置し、インターネットを通じて利用状況を配信するとともに、そのカメラで取得した映像を解析します。

(1) 設置する公共駐車場（駐車可能台数）

① P 2：石段アルウィン公園西駐車場
(10台)

② P 3：石段アルウィン公園内駐車場
(9台)

③ P 4：石段アルウィン公園北駐車場
(27台)

④ P 6：八千代橋駐車場
(39台)

※①～④は、全て機器を使って管理している駐車場です



(2) 解析内容例

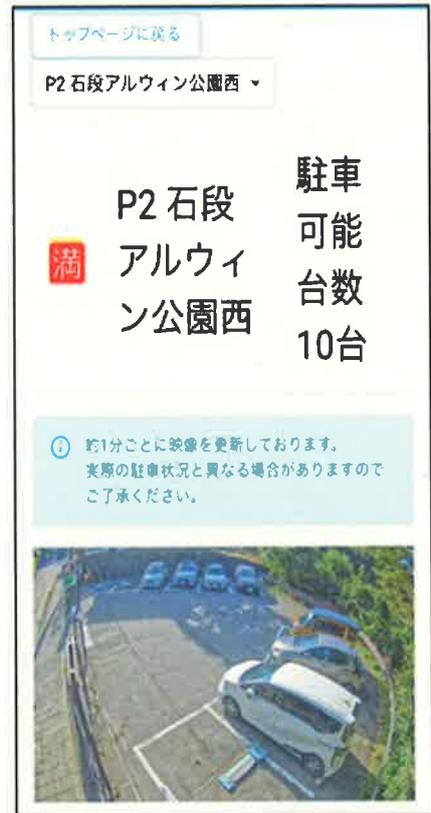
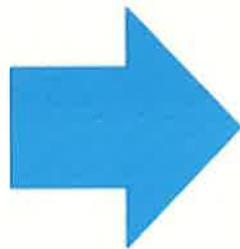
- ① 駐車車両台数と駐車時間
- ② 駐車車両の属性分析

3 実施期間 令和6年10月7日(月)～令和7年2月28日(金)

4 事業実施による狙い

- (1) 市ホームページや市公式LINEから駐車場の利用状況を「空」「混」「満」で表示するとともに、カメラで映像を配信することで満車になる石段街周辺駐車場（P2・P3・P4）へ行く前に、空車がある駐車場（P6）へ誘導します
- (2) AIカメラによる解析を通じて各公共駐車場の利用データを取得し、利用状況の傾向などを分析することで、課題解決に向けた取組を検討する際に活用します

【公共駐車場の利用状況の表示イメージ】



■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人 (内線2105)
 担当：DX推進課 (電話0279-25-8414)
 課長 小林 悟 (内線2450)
 DX・改革推進係長 後藤 晃秀 (内線2443)
 産業観光部 部長 金井 裕昭 (内線4899)
 担当：観光課 (電話0279-22-2873)
 課長 西脇 正悟 (内線4880)
 観光施設係長 荒木 信彦 (内線4887)

資料4

公立の幼稚園・保育所・認定こども園において LINEを利用して欠席等の連絡を受けています

令和6年4月1日から、渋川市内全て公立幼稚園・保育所・認定こども園において、児童の欠席等の連絡に市公式LINEを利用しています。7割以上の保護者が利用し、いつでもスマホで欠席や遅刻の連絡ができるようになり、便利になったとの意見をいただいています。

1 概要

渋川市内には、公立の幼稚園・保育所・認定こども園が合計9施設あり、約400人の児童が在籍しています。これまで保護者や施設職員の負担が大きかった園児の欠席等の連絡の対応について、令和5年度から準備を進め、令和6年4月から渋川市内全ての公立幼稚園・保育所・認定こども園において、欠席等の連絡をLINEでできるようになりました。

2 利用状況

- (1) 市内9施設に在籍する児童の保護者376人のうち271人(72.1%)が、利用登録をしています(令和6年7月末現在)
- (2) 1カ月当たりのLINEでの連絡件数は、9施設で約350件です

3 保護者の声

- ・今まで、当日に欠席の連絡をする時刻を気にしていたが、いつでもLINEで連絡できるようになった
- ・夜間や当日早朝に体調不良が分かっていたら、その場で連絡を済ませることができるので、落ち着いて子どもの世話をすることができるようになった

4 導入効果

施設において、1件の対応に3分の時間を要していたと仮定すると、1カ月で17時間、年間では200時間以上の電話対応時間が削減できることになり、その結果、保育士が子どもと触れあう時間を確保できるようになりました。

施設職員からは、「電話連絡の対応時間が削減された」や「電話回線をふさがないのは良い」などの意見があります。

5 利用の流れ

- (1) 市公式LINEのメニューから「子育て」を押します



(2) 子育てメニューが表示されるので、「公立保育所・幼稚園・こども園欠席等連絡」を押します。

(3) 保護者は事前に「こどもの登録」をしておきます。登録メニューから所属している幼稚園や保育所の名称を選択すると、それぞれ固有のパスコードが求められます。パスコードは、在籍している保護者にだけ事前にお知らせしているので、部外者が勝手に登録することはできません。

パスコードを入力後、児童と保護者の氏名を入力して登録完了となります。

(4) 欠席や遅刻、早退の連絡をしたいときは、「欠席等連絡」ボタンをタップします。登録済みの自分の子どもの氏名のみが選択肢として表示されるので、その都度入力する必要はありません。連絡内容や欠席の理由、体調不良の詳細も、あらかじめ設定されている選択肢を選んで報告することができます。選択肢のみでなく、体温や受診状況、その他の詳細な情報を自由に入力することも可能です。



6 その他

公立の幼稚園・保育所・認定こども園の全ての施設において、LINEで欠席等の連絡を受けているのは、渋川市以外では10月から本格導入した館林市のみです。

■問い合わせ先

育都推進部 部長 角田 義孝 (内線1150)

担当：こども支援課 (電話0279-22-2415)

課長 野中 文子 (内線1201)

保育幼稚園係長 田子 純一 (内線1244)

消防団の組織や処遇について検討する 「渋川市消防団活性化庁内検討委員会」を設置しました

渋川市は、渋川市消防団の効率的かつ円滑な組織運営及び活性化を図るため、「渋川市消防団活性化庁内検討委員会」を設置し、消防団員の定員や団員の処遇など、さまざまな課題について検討を行います。第1回の委員会を、10月16日(水)に開催します。

1 目的

人口減少や高齢化、産業・就業構造の変化などによる消防団員の減少は、全国的な課題となっています。

渋川市は、団員不足により活動に支障を来している分団があることや、団員へのアンケート結果などから「渋川市消防団活性化庁内検討委員会」を設置しました。

この委員会は、組織の再編計画と併せて、団員の処遇などさまざまな課題について検討を行います。

2 主な所掌事務

- (1) 消防団の組織再編、運営及び活性化に関すること
- (2) 消防団員の処遇に関すること

3 庁内検討委員会の構成

- (1) 委員長 副市長
- (2) 副委員長 情報防災部長
- (3) 委員 総合戦略部長、総務部長、市民環境部長、建設交通部長、上下水道局長

4 今後の予定

委員会で検討した後に消防団などとの協議を行い、意見を確認しあいながら進めていく方針です。

- ・令和6年10月16日(水) 第1回庁内検討委員会の開催
- ・令和6年11月以降 消防団・自治会に報告、協議
第2回庁内検討委員会の開催
渋川市議会総務市民常任委員会協議会に報告

参考

1 渋川市消防団員数 条例定数662人、実員数580人(令和6年4月1日現在)

2 渋川市消防団の主な沿革

- (1) 平成18年4月 旧6市町村の消防団を統合し、7方面隊32分団で発足
- (2) 平成22年4月 4方面隊、30分団に組織再編
- (3) 令和4年4月 機能別団員を設置
- (4) 令和5年4月 女性消防隊を設置

■問い合わせ先

情報防災部長 萩原 義人 (内線2105)

担当：危機管理室 (電話0279-22-2130)

室長 佐藤 昭代 (内線2180)

地域消防係長 兵藤 正和 (内線2183)

渋川市の衆議院議員総選挙の対応についてお知らせします

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が、令和6年10月27日(日)に執行される予定となっています。今回の選挙は、執行予定日の発表から執行予定日までの期間が短いため、入場券の送付が期日前投票の開始日に間に合わない世帯が見込まれます。

そのため、渋川市は、入場券が届かなくても、期日前投票ができる旨のチラシを作成し、各自治会の掲示板等に掲出することで、市民への周知を図ります。

1 概要

第50回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査が、令和6年10月27日(日)に執行される予定となっています。今回の選挙は、執行予定日の発表から執行予定日までの期間が短いため、選挙のときに使用する投票所入場券の送付が公示日以降となり、渋川市内において入場券の送付が期日前投票の開始日に間に合わない世帯が見込まれます。渋川市では、これまで、選挙の情報を広報紙で市民にお知らせしてきましたが、次の発行日が令和6年11月1日(金)であり、投票日より後になるため、当該選挙に関する情報を、広報紙で周知することができません。そのため、入場券が届かなくても、期日前投票ができる旨のチラシを作成し、各自治会の掲示板等に掲出することで、市民への周知を図ります。

また、渋川市内における小選挙区の区割りが改定されたことから、選挙に関する詳細な情報を市ホームページに掲載するほか、随時に市公式LINE及びしづかわほっとメールを配信し、市民に混乱が生じないようにします。

2 渋川市の入場券配布スケジュール(予定)

- ・第50回衆議院議員総選挙公示日：令和6年10月15日(火)
- ・各家庭への配布開始日：令和6年10月15日(火)
- ・配布完了日：令和6年10月18日(金)

※入場券が届いていない場合でも、投票所の受付で本人確認をした上で期日前投票を行うことができます

3 渋川市の期日前投票所開設期間及び開設時間

- (1) 市役所本庁舎
 - ・開設期間＝令和6年10月16日(水)～26日(土)
 - ・開設時間＝午前8時30分～午後8時
- (2) 各行政センター
 - ・開設期間＝令和6年10月20日(日)～26日(土)
 - ・開設時間＝午前8時30分～午後8時

4 チラシのデザイン案 別添のとおり

5 区割り等の改定について

令和4年の公職選挙法改正により、全国で衆議院議員総選挙の区割り等の改定が行われました。

渋川市における衆議院議員選挙の小選挙区は、これまで群馬県第1区(赤城地区、北橋地区)と群馬県第5区(渋川地区、伊香保地区、小野上地区、子持地区)に分かれていましたが、今回から市内全域が群馬県第5区に統一となります。

この区割り等の改定に伴い、期日前投票を行える場所が次のようになります。期日前投票は、同一の選挙区内でのみ行えることから、市内であっても自身の選挙区以外の期日前投票所は利用できませんでした。今後は、渋川市内のどの期日前投票所でも投票することができます。

これまで			今回から		
地区	選挙区	期日前投票所	地区	選挙区	期日前投票所
渋川地区	群馬5区	市役所本庁舎 伊香保行政センター 小野上行政センター 子持行政センター	渋川地区	群馬5区	市役所本庁舎 伊香保行政センター 小野上行政センター 子持行政センター 赤城行政センター 北橋行政センター
伊香保地区					
小野上地区					
子持地区					
赤城地区	群馬1区	赤城行政センター 北橋行政センター	赤城地区		
北橋地区			北橋地区		

※選挙区内の期日前投票所でなければ投票できませんでした。

※どの期日前投票所でも投票することができます。
※市役所本庁舎と各行政センターでは、期日前投票の期間が異なりますので注意してください。

6 投票所の状況

渋川市内においてこれまで投票所として使用していた場所について、既に開催が予定されているイベント等との調整を行い、これまでと同様の施設での投票を行える見込みです。

なお、一部の投票所で投票場所や動線に変更が生じる可能性があります。

- (1) 第4投票区の中央公民館（坂下町）は、投票場所として2階講義室を使用します。
- (2) 第3投票区の社会福祉センター（南町、長塚町）と第55投票区の北橋公民館（下南室、真壁東、真壁美保、真壁下）については、他のイベントで施設を使用するため、投票する人の動線が変更となる可能性があります。

参考

直近の選挙の投票率について

- ・令和5年7月23日：群馬県知事選挙＝31.39%
- ・令和5年2月5日：渋川市議会議員選挙＝50.26%
- ・令和4年7月10日：参議院議員通常選挙・群馬県選挙区＝46.09%
- ・令和3年10月31日：衆議院議員総選挙・小選挙区（第1区）＝50.26%
（第5区）＝48.99%
- ・令和3年8月29日：渋川市長選挙＝45.81%

■問い合わせ先

総務部 部長 星野 幸也（内線2100）
 担当：総務課（電話0279-22-2112）
 選挙管理委員会事務局
 （電話0279-22-2334・内線4211）
 課長 藤井 成行（内線2110）
 総務係長 樋口 孝行（内線2118）

第50回衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査

投票日

令和6年10月27日(日)午前7時～午後6時

各期日前投票所の開設期間および開設時間

<市役所本庁舎・11日間>

開設期間 令和6年10月16日(水)～26日(土)

開設時間 午前8時30分～午後8時

<各行政センター・7日間>

開設期間 令和6年10月20日(日)～26日(土)

開設時間 午前8時30分～午後8時

入場券がなくても 投票できます

入場券がない場合の投票までの流れ

- ①入場券がないことを係員に伝えてください
※期日前投票所のみ宣誓書の記入をご案内します
- ②受付係が口頭でお名前などを確認します
※本人確認書類は不要です
- ③投票してください



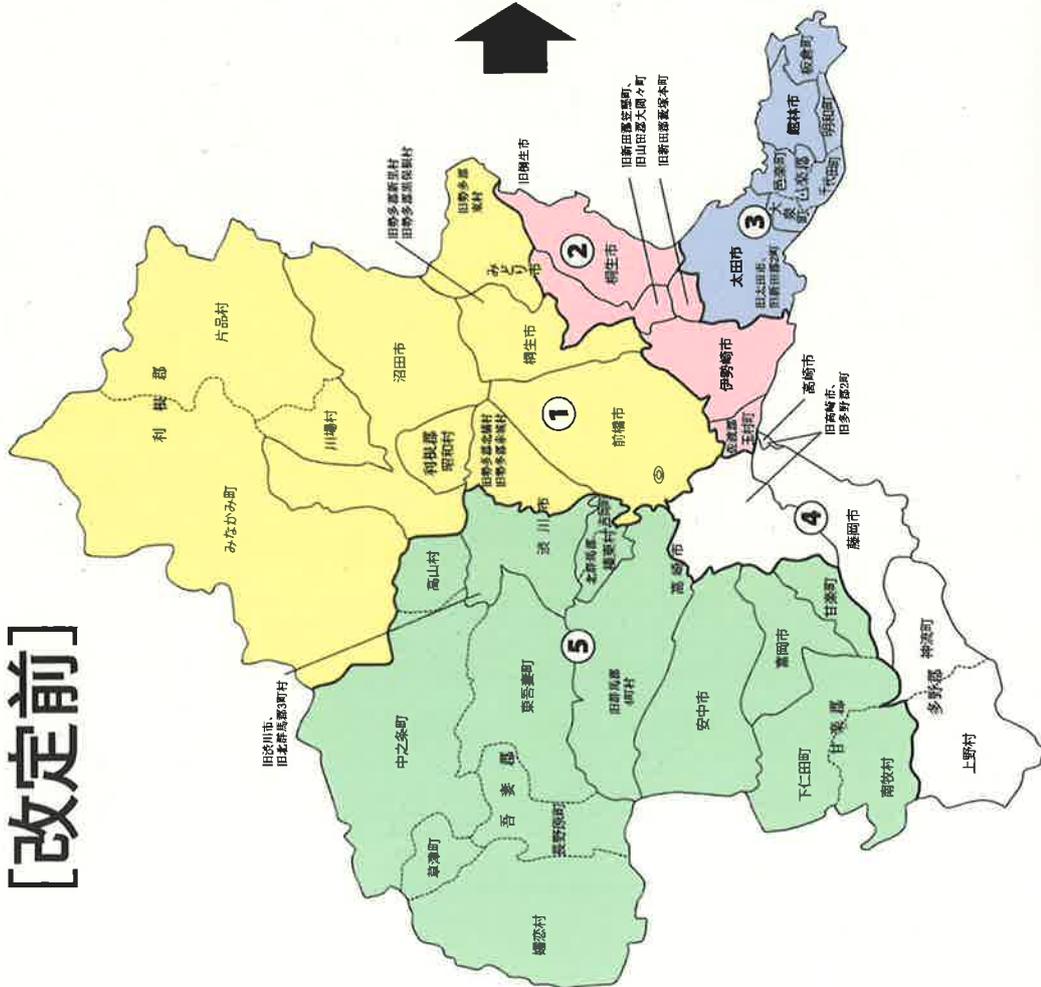
選挙のめいすいくん

—入場券は準備が整い次第、順次発送します—

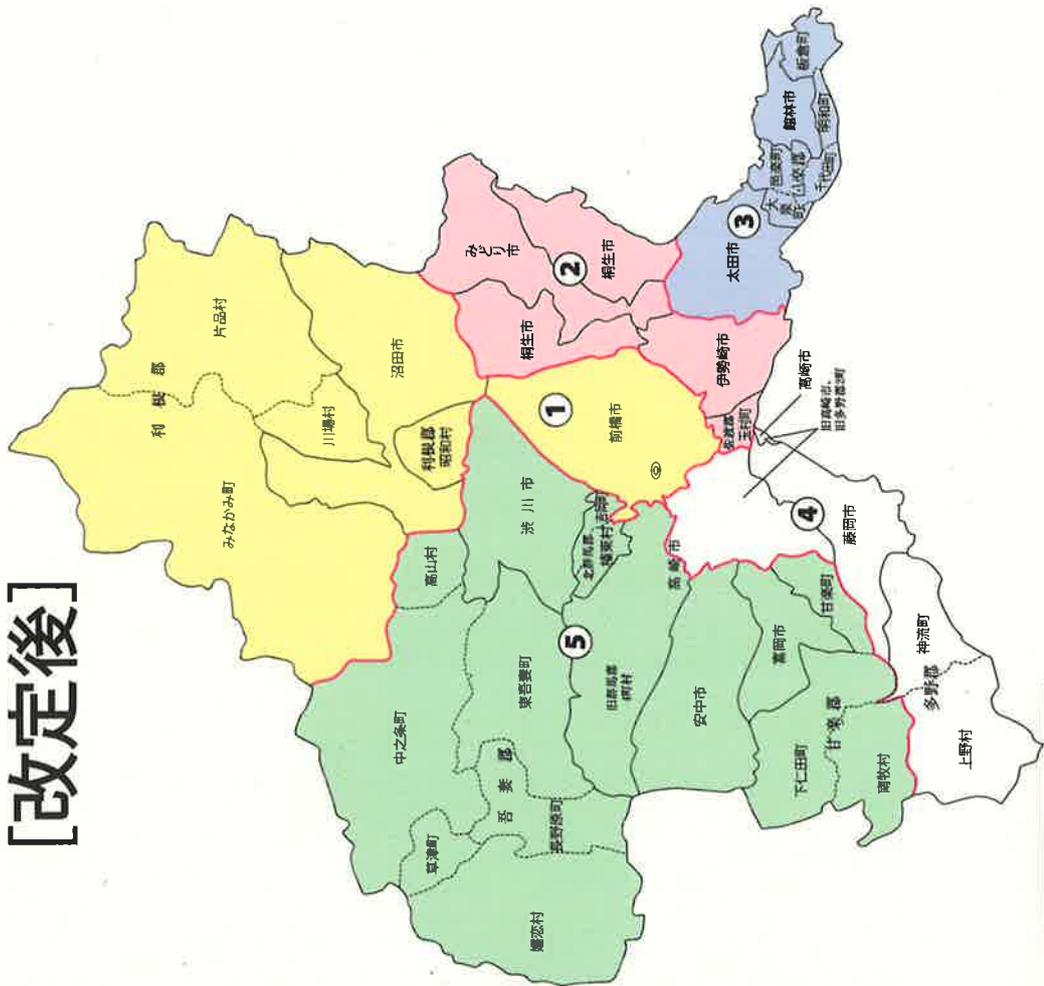
群馬県

衆議院議員選挙の小選挙区が改定されました。
次の衆議院議員総選挙からは、新しい選挙区で選挙が行われます。

[改定前]



[改定後]



お問い合わせは

- 総務省選挙部
- 市区町村選挙管理委員会
- 都道府県選挙管理委員会

令和6年度の「共生社会推進月間」における取り組みを紹介し

渋川市は、「共生社会実現のまち」を目指し、心のバリアフリーの理念の浸透を図るため、共生社会ホストタウンに登録された10月を「共生社会推進月間」とし、共生社会の実現に向けた取り組みを重点的に実施しています。

今年度は、これまでの取り組みに加えて、令和6年度の新規事業である「しぶかわ未来共創推進事業補助金」を活用した「子育てに関する講演会」と「インクルーシブ社会に関する講演会」を開催するほか、女性の更年期による心身の不調について理解を広げるため、「世界メノポーズデー」の啓発に取り組みます。

1 概要

渋川市は、全ての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、支え合い、誰もが自分らしく生き生きとした人生を送り、さまざまな人々の能力が発揮されている活力ある社会の実現を目指した取り組みを進めています。

令和元年に内閣官房から「共生社会ホストタウン」に登録されたことを契機に、共生社会の実現に向けた取り組みを加速させており、登録された10月を「共生社会推進月間」として、重点的に取り組みを実施しています。

2 令和6年度の特徴

渋川市の課題解決や魅力向上を目的として開催される「まちづくりに資する講演会等」に対して補助を行う、令和6年度の新規事業である「しぶかわ未来共創推進事業補助金」を活用した「子育てに関する講演会」と「インクルーシブ社会に関する講演会」を実施します。

また、女性のヘルスリテラシー（健康に関する情報を理解して活用する能力）の向上に向けた取り組みとして、更年期以降の女性に多く見られる心身の不調についての理解を広げるため、10月18日の「世界メノポーズデー」を広く周知します。

3 主な取り組み内容

誰もが暮らしやすい社会の実現を目指し、心のバリアフリーの理念の浸透を図るため、共生社会の実現に向けた取り組みを別紙のとおり実施します。

参考

「しぶかわ未来共創推進事業補助金」とは

まちづくりに資する講演会等で、市内で開催するものを対象とした補助金です。

例) 共生社会推進、女性活躍、少子化及び人口減少対策、産官学労の連携、デジタルトランスフォーメーション、防災、移住・定住、子育て、地域産業の振興等に関するもの

■問い合わせ先

総合戦略部 部長 鴻田 吉史 (内線2410)

担当：政策戦略課 (電話0279-25-8419)

課長 小野 篤史 (内線2420)

未来戦略係長 齋藤 大輔 (内線2423)

【別紙】 共生社会推進月間における主な取り組み

No.	取り組み内容	対象	所管課
1	職員全体が共通意識を持つようピンバッジを着用します	市職員	政策戦略課 (25-8419)
2	「共生社会推進月間」の懸垂幕を掲示します	市役所本庁舎 渋川駅前プラザ	
3	心のバリアフリーを推進するため、啓発パンフレットを配布します	小学4年生 中学3年生	
4	性の多様性の理解を深めてもらうため、啓発リーフレットを配布します	中学2年生	
5	社会にある障害を見抜き、解決に向けた行動につなげるため、DET研修を行います (10月10日(木)・市役所本庁舎大会議室) (10月16日(水)・伊香保中学校多目的室) (10月31日(木)・金島中学校体育館)	市職員 伊香保中学校 金島中学校	
6	パラアスリートとの対話を通じて共生社会実現に向けた理解を深めます(オンライン) (10月4日(金)・三原田小学校) (10月16日(水)・長尾小学校) (10月30日(水)・中郷小学校)	三原田小学校 長尾小学校 中郷小学校	
7	更年期以降の女性に多く見られる心身の不調についての理解を広げるため、10月18日の「世界メノポーズデー」を広く周知します	市民	
8	子育てに関する講演会を開催します (10月12日(土)・渋川市勤労福祉センター)	どなたでも (要事前申込み)	
9	インクルーシブ社会に関する講演会を開催します (10月14日(月・祝)・伊香保公民館)	どなたでも	
10	市民と市内在住外国人のバーベキュー交流会を開催します (10月26日(土)・渋川市総合公園)	市民と市内在住外国人 (要事前申込み)	市民協働推進課 (22-2463)
11	市内イベントや休日当番医などを英語で紹介する「しぶかわカレント」を配布します	市内在住外国人	
12	市内小中学校で出前手話教室を開催し、手話の理解と普及を図ります	市内小中学校	地域包括ケア課 (22-2359)
13	市民、観光従事者、医療従事者向けの手話教室を開催します	市民、観光従事者、医療従事者	
14	市で作成した手話学習教材の動画を、市公式YouTubeで配信します	市民	
15	園児が遊びながら手話に触れられる、手話あそび体験を実施します	保育所、幼稚園、 認定こども園	こども支援課 (22-2415)
16	アイマスクを着けた歩行体験を通じて、視覚障害への理解を深めます	市内小中学校	学校教育課 (22-2614)
17	点字を打つ体験を通じて、視覚障害への理解を深めます		
18	車椅子の乗車・介助体験を通じて、肢体障害や介護への理解を深めます		
19	図書館所蔵資料を職員が無料配送します	1人では来館が 困難な人	市立図書館 (22-0644)
20	彫刻を手で触れて鑑賞できます	どなたでも	美術館 (25-3215)